

リスクシナリオを回避するための具体的な取組

事前に備えるべき5つの目標		リスクシナリオ13ケース		回避するための具体的な取組
1	直接死を最大限防ぐ	1-1	建物等の倒壊や火災等による多数の死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旧耐震基準の建物の耐震診断や耐震改修の推進 ○ 消防車両・救急車両、防災資機材及び防火水槽等の整備・維持管理 など
		1-2	風水害や土砂災害、大津波等による多数の死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害想定に基づいた土砂災害防災訓練、津波対策訓練、富士山火山防災訓練、総合防災訓練、防災講演会などの継続的な周知と実施 ○ 神奈川県による砂防堰堤工事、急傾斜地やのり面対策工事等の促進 など
2	救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確保する	2-1	町の孤立による自衛隊、警察、消防、海保等の救助・救急活動等の難航	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急輸送道路を補完するための広域農道の早期完成 ○ 広域応援部隊の活動拠点候補地となる総合運動公園、幕山公園及び駐車場の再整備及び受入体制の充実 など
		2-2	大量の帰宅困難者の発生、混乱	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅前広場、商工会館、町立図書館など帰宅困難者収容施設の整備の推進 ○ J R・バス会社と連携した臨時便等の運行要請 など
		2-3	被災地や避難所等における要配慮者等の健康被害と感染症等の大量発生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健士等による被災者等の自主的な健康増進と疾病予防の推進（栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、歯・口腔の健康、感染症予防等）など
3	必要不可欠な行政機能や情報通信機能等を確保する	3-1	職員・施設等の被災による町災害対策本部と行政機能の低下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1・2・3庁舎、保健センター及び消防本部の長寿命化、非常用電源設備の強化、無線・映像伝送設備の充実 ○ 応援職員の派遣に係る国・県・他市町との連携の強化 など
		3-2	情報通信の機能不全	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種行政システム・サーバー等の耐久化・冗長化及び維持・整備 ○ 防災行政無線の長寿命化及び維持・整備 など
4	ライフライン、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させ、経済活動を機能不全に陥らせない	4-1	ライフラインの長期間にわたる機能停止及び食料等の安定供給の低下	<ul style="list-style-type: none"> ○ ライフライン事業者との早期復旧に係る協議や共同訓練の実施 ○ 浄水センター、雨水・汚水処理施設などの耐震化、復旧用資機材の強化 など
		4-2	緊急輸送道路網・東海道本線の分断による交通ネットワークの機能停止	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災当初における緊急輸送道路（国道135号・県道75号・県道740号）の応急復旧等や交通統制に係る国や県、小田原警察署との連携及び平時からの訓練等の実施 ○ 町道・橋りょう等の耐震化・長寿命化の推進及び定期点検・整備 など
		4-3	漁港施設、船舶の被災による漁港機能・海上輸送機能の低下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 耐震強化岸壁及び船舶係留設備の強化整備 ○ 漁港周辺道路の耐震化 など
5	複合災害・二次災害を発生させず、社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	5-1	農地や森林、海岸等の荒廃による地域産業力の低下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農道の整備及び広域農道整備の促進 ○ 神奈川県による「湯河原海岸 安全・安心な海辺づくり計画」に基づく海岸保全施設整備（新崎川河口付近及び湯河原海岸）の推進 など
		5-2	大量に発生する災害廃棄物の処理停滞による復旧・復興の大幅な遅れ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般廃棄物処理施設の耐震化・長寿命化の推進 ○ 国、県、近隣市町や民間事業者等との連携強化による災害時における廃棄物処理の協力体制の構築 など
		5-3	観光資源の被災、風評被害等による来町者の減少と地域経済への影響	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光資源の拡充・整備 ○ 観光施設及び観光拠点の整備・充実、個性化 など